

今月の特集

1

検査と臨床のコラボで理解する 腫瘍マーカー

臨床検査医学は総合科学であり、ある検査項目に焦点をあてるなら、その被測定物資の基礎医学的側面、検査技術論、制度管理状況といった“検査学”と、臨床的意義についての“臨床応用学”を網羅するものです。市販されている検査ガイドブック的なものは、このコンセプトで編集されており、実際、重宝されていますが、この2つの側面をそれぞれのプロフェッショナルに執筆いただいたら、さぞ深みのあるものになるに違いないと思い立ち、“腫瘍マーカー”で実現してもらいました。実際に話し合ってコラボしていただいたわけではありませんが、あたかも協議されたように、それぞれの立場で見事にまとまっています。AFP・PIVKA II, CEA, CA19-9, PSA については、どの解説書よりも立派なものになったと自負しております。ぜひ、日々の業務にお役立てください。

(山田 俊幸)